

名残の石垣



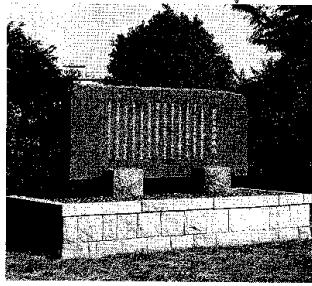
▲大浦緑地公園（西浅井町）の片隅に残る石垣と水路跡  
▲早崎集落（長浜市）の南側を流れる川沿いにもきれいな石垣が見られる

## 石垣

### 干拓興農碑

碑

昭和19年から24年にかけ、学徒動員などによって行われた塩津干拓事業の様子を記す石碑。足元には、二体刻まれたお地蔵さんが佇む。



湖畔をたどる道すがら、目を引くモノ、捨て置けないコトは数知れず。特集記事のなかに入りきらなかつたアレコレを紹介します。

# アレコレ!? や

その1

## 湖畔の気になる

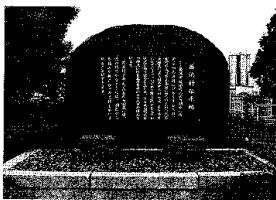
「めのと浜伝承地の碑」  
「めのと浜」は長浜市相撲町の湖岸で、江戸時代中期、観音菩薩像が打ち上げられた記録が残る。この観音さまは、彦根市の龍潭寺に納められている。

### 共感共生 下座

ピューティンシアル  
なちばな  
15-1,Miyajima-cho,  
Nagahama-city  
PHONE 0749-63-1201  
63-8798

プライム・ガ  
なちばな  
9-1,Yamada-cho,  
Nagahama-city  
PHONE 0749-63-7525

クレールバー  
なちばな  
Yasugawakayama-cho,  
Nagahama-city  
PHONE 0749-65-3986



長浜市祇園町の北にあったが、寛正期（1460～1465）の大地震で水没。村にあつたお寺の仏像は、難を逃れて祇園町などに移り住んだ人びとの子孫によつて、今も大事にされているという。

### 西浜村

木之本町の藤ヶ崎と西浅井町塩津浜の間、湖北町尾上から湖上3里のところにあつた集落。文政期（1818～1829）の大地震で沈んでしまつたといふ。

### 浜村

沈んだ村

## 沈んだ村

# 湖岸の端っこ

### 阿曾津千軒



▲高島市との境界に近い二本松水泳場（西浅井町）

▲駿ヶ岳からびわ湖の北端を見る。カーブを描いているのが国道8号、その左側の扇形が干拓された婆婆内湖（西浅井町）。右手奥に湖西線の高架が見える



▲月出集落（西浅井町）の南端にある墓地から身を乗り出して覗いて見たところ。この先は行けそうにない…



▲菅浦集落（西浅井町）の東端から集落を見る。ここから先、葛籠尾崎まで湖畔を行けるらしいが、今回は探検にまで及ばず



▲彦根市側から北を向いたところ。このすぐそばのお宅まで米原市

「ん」は、西野の講組織によつてお世話をされている。

ここには、阿曾津婆の伝承がある。お金持ちの阿曾津婆は、お金を貸した村人に容赦なく取り立てるので皆から恨まれ、とうとう巻きにされたうえ

息を引き取り、その恨み故か、阿曾津には大津波が起る。阿曾津に住めなくなつた村人たちは、山を越え、西野、熊野、東・中・西柳野、磯野、松尾の七つの集落に分かれていった。といふものだ（高月町のむかし話）による。

よ

